

# 麻酔科この1年

麻酔科医長 櫻井 行一

## 診療体制

平成19年3月末の人事で、大友重明医師が2年の名寄勤務を終え旭川医大麻酔科蘇生科に転勤となりました。同年4月からは、臨床研修を終えた稲垣泰好医師と旭川医大麻酔・蘇生学教室からの上村佐保子医師を迎え4人体制となっています。本年度は臨床研修医の救急・麻酔研修として、2008年3月末までに、1年次4人と2年次1人がローテーションしています。加藤励（1年次3ヶ月）、山下亜貴子（1年次3ヶ月）、安部朋佳（1年次3ヶ月）、野崎綾子（1年次3ヶ月）、原田修人（2年次6ヶ月）の研修が大過なく終了しています。

## 手術麻酔

本年度の麻酔科による管理症例は1530例とほぼ例年並みの件数でした。しかし昨年度からの特徴として、手術室外での麻酔業務が増加しており、特に精神科に往診しての修正電気痙攣療法や血管造影室での全身麻酔下での脳神経外科の動脈瘤コイル塞栓術が多数行われていました。手術室外での麻酔業務は今後もますます増える印象ですので、各部署でのご協力よろしくお願ひします。

本年度は、再び4人体制となりましたことで更に充実した麻酔管理ができたものと自負しております。皆様のおかげで大きな事故もなく一年が過ぎたことに感謝しています。

## 外来診療

ペインクリニック外来患者数は例年よりもやや減少しましたが、例年通りに皮膚科・耳鼻咽喉科・

整形外科からの紹介が定期的であり大変感謝しております。また、旭川方面の専門施設から逆に当院でのフォローアップも相当数依頼されています。今後も現在の体制を維持しつつ、最新のペインクリニック診療を行えるよう設備や教育などの環境を整えてゆきたいと思ひます。

## 学会活動等

平成19年は学会・研究会での発表は計10題となり、投稿論文は3題の掲載ができました。詳細は本誌業績集をご覧ください。

## 教育活動

本年度も上川北部の救急救命士を対象とした研修を行いました。生涯教育は昨年同様に、毎週月曜日と火曜日に各署より各曜日1名受け入れることにして、手術室研修・宿泊研修を1日行う体制と致しました。本年は救命士が名寄消防・下川消防にて計4名誕生したため就業前研修を6月に20日間行いました。気管挿管実習も行われ4名の救命士が資格をとることができました。各実習に協力いただいた診療科・看護部など多くの部署にこの場を借りて深謝いたします。

院内の蘇生講習（BLS＋AED講習会）も館岡医師・稲垣医師を中心に本年度も定期的で開催されました。

11月には、我々の教室の岩崎寛教授を御迎えし、医療安全講演会を開催いたしました。医療安全・緩和医療について多くのことを学んだのは記憶に新しいところです。

今後ともよろしくお願ひいたします。